Society5.0をリードする人材育成に向けたリーディング・プロジェクト

参考4-1

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

令和8年度予算額　0.2億円
（前年度予算額　1億円）

文部科学省

事業概要

Society5.0をリードし、SDGsの達成を牽引するイノベーティブなグローバル人材育成のリーディング・プロジェクトとして、国内外の大学等との連携により文理横断的な知を結集し、社会課題の解決に向けた探究的な学びを通じた高校教育改革や大学の学びの先取り履修等を通じた高大接続改革を推進する。

- 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等とが協働し、高校生が主体となり、**海外をフィールドにグローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びを実現**するカリキュラムを開発。
- これまで訪問できなかった国の高校生や大学生等との**オンライン海外フィールドワークなど、世界規模で生じた豊かなオンライン環境を駆使**したカリキュラム開発。
- **大学等と連携した大学教育の先取り履修**（カリキュラム開発）により、高度かつ多様な科目等の学習プログラム／コースを開発。
- コロナ禍の影響で限定的となった、**海外の連携校等への短期・長期留学、海外研修や、**海外の連携校等からの**外国人留学生と日本人高校生とが一緒に履修する英語等による授業、探究活動等を重点的に実施**。
- 学習を希望する高校生へ高度な学びを提供するため、拠点校間及び関係機関との連携の上、**個別最適な学習環境を構築**。
- イノベーティブなグローバル人材育成に関心のある高校がグローバルな課題探究成果を共有するための**ミニフォーラムの開催**。

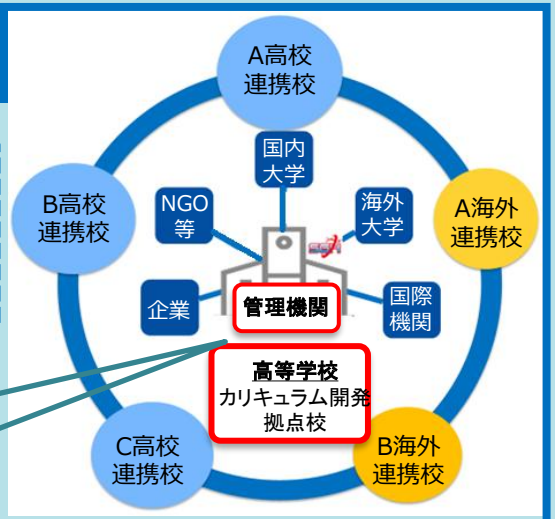
AL（アドバンスト・ラーニング）ネットワーク　イメージ図

ALネットワーク

海外フィールドワークや国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう国内外の連携機関とのネットワークを形成

管理機関

高等学校と連携機関をつなぎ、カリキュラムを研究開発する人材（カリキュラム・アドバイザー）等の配置



WWLコンソーシアム

高校や国の枠を超えて、高校生に高度な学びを提供するAL（アドバンスト・ラーニング）ネットワークを形成した拠点校を全国に配置し、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築へとつなげる。

対象校種	**国・私立の高等学校及び中高一貫教育校**
委託先	**管理機関**（国立大学法人、学校法人）
箇所数 単価 期間	○**グローバル人材育成の強化：5拠点**（継続） **４００万円程度**/拠点・年、原則**３年** **①アウトバウンド型（海外留学等を重点的に実施）** **②インバウンド型（留学生受入等を重点的に実施）**
委託対象経費	○**グローバル人材育成の強化に必要な経費** （海外連携校との調整に必要な経費、英語等による授業の実施に必要な経費等）

（担当：初等中等教育局高等学校振興課）

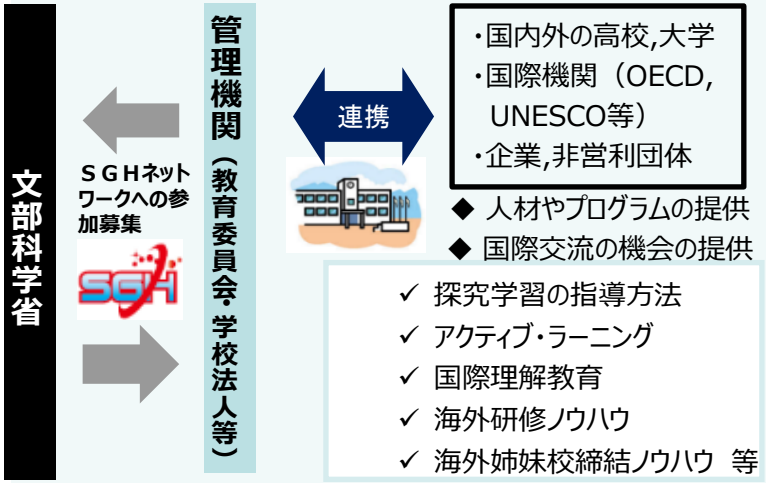
「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」ネットワークの構築

参考4-2

文部科学省

目的

高等学校等における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため、SGH等の**イノベーティブなグローバル人材育成を実践する事業の成果を踏まえ、継続的発展的に取り組む高等学校等**を対象としたネットワークを構築し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを通じて、**SGH等の成果普及**と持続可能な**グローバル人材育成のネットワークづくり**を推進する。



文部科学省主催

◆**全国高校生フォーラム（例年12月開催）への参加**
◆**グローバル人材育成全国連絡協議会への参加 等**
※SGHロゴマークの使用も可

SGH ネットワークへの参加要件

◆対象学校：ＳＧＨ指定校、ＳＧＨアソシエイトとなった高等学校、又は地域協働による高等学校教育改革推進事業（グローカル型）指定校、特例校、アソシエイト校のうち、「ＳＧＨネットワーク参加に関する規定」に掲げる参加要件を満たす取組を実施し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを希望する高等学校等（国公私立高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校、併設型及び連携型中・高））

◆参加校（令和８年度）：１１７校
（国立１０校、公立６４校、私立４３校）

◆要件

- ✓ グローバル人材像を設定し、当該人材像を踏まえ、卒業時に生徒が身に付けることのできる資質・能力を具体的かつ明確に定め、公表していること
- ✓ グローバル人材育成に資する課題研究又は先進的な課題研究等の実績を踏まえた、グローバル人材育成に資する発展的な実践に取り組む教育課程等を編成していること
- ✓ 国内外の高校・大学・国際機関等との連携により、より実践的で高度な学習活動が行われていること
- ✓ グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の手法が、外国語によるものも含め、生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられていること
- ✓ 一定期間ごとに、本取組に関する自己評価・学校関係者評価を実施すること

★SGH等の事業を通じて、全国の高等学校に形成されたグローバル人材育成プログラムの内容と運営の経験知、国内外のネットワーク等、有形無形のリソースを共有し、魅力的な教育課程の充実や国際的なつながりの拡大など、イノベーティブなグローバル人材育成を実践する事業の取組のさらなる質的・量的な発展を目指す。